

現代フランス文学 最新情報

現代フランス文学の動きを通じて、フランスという国の姿を概観します。

講 師 高 橋 啓 氏 (翻 訳 家)

【 講師プロフィール 】

昭和 28 年帯広市生まれ。帯広柏葉高校卒業後、早稲田大学第一文学部に入学し、フランス文学を専攻。卒業後、教科書出版社、アルジェリアにおける現場通訳の仕事を経て、翻訳会社に勤務したのち、翻訳家として独立。現在は、翻訳業を続ける傍ら、帯広大谷短期大学でフランス語講師としても活動中。

訳書にパスカル・キニャール「アルプキウス」「音楽への憎しみ」、ニコラ・ブーヴィエ「ブーヴィエの世界」、マグダ・オランデル＝ラフォン「四つの小さなパン切れ」、ジャック・ルーボー「麗しのオルタンス」など多数。ローラン・ビネ「HHhH プラハ、1942 年」で 2014 年 3 月にツイッター文学賞「海外編」、同年 4 月に本屋大賞「翻訳小説部門」を受賞。

日 時 : 12月 2日(水)18:30~20:00

会 場 : とかちプラザ 会議室304 (帯広市西 4 条南 13 丁目 1 番地)

定 員 : 先着50名(無料)

申込先 : 帯広市教育委員会 生涯学習課

TEL:65-4192 FAX:23-6142

主催／帯広市教育委員会

協力／帯広大谷短期大学